

4月から当院のスタッフとして新たにスタートを切った
元気いっぱいのフレッシュマンです!!



おとさねのこと
学んでまいります。



積極的に働き
がらばらにしたいです。



毎日が新しい発見の
日々です。



皆様ご協力で健運の程
よろしくお願ひします。



日々が
前向きに
働きたいです。



笑顔と明るさも
常に持ってがんばります。



明るく!!
元気に!!



いつも笑顔も忘れずに
頑張ります。



早く一人前になれるよう
笑顔で頑張ります。



明るく元気に日々精進して
頑張ります。



早く仕事も覚えて
頑張ります。

新人として何事にも
謙虚な姿勢で頑張ります。



患者さんが信頼もあける
看護師になりたいです。



明るく元気に!
向上心をもって
頑張ります。



日々思いやりのある
態度に努めていきます。



他の新人さんたち
に負けないぞと
頑張ります。



一生懸命頑張ります。



笑顔と思いやりも忘れずに
頑張ります!



日々成長して
いけるよう
頑張っています。

頑張ります!!



平成17年4月から

病院食がホテルの味に？

4月から患者さんの食事を、秋田キャッスルホテルが作っています。

新たに冷温配膳車12台とスチームコンベクション(万能焼器)2台を導入し、今まで以上に適時・適温配膳に威力を発揮しています。

栄養管理・季節感・安全性・衛生面に配慮して、患者さんの病気が快復できるように、おいしい食事を病院職員、受託社員力を合わせて提供していきます。

外来・入院患者さんの栄養管理、栄養指導は従来通り病院職員(管理栄養士)が行っています。栄養相談ご希望の方は、主治医にお申し出下さい。



患者さんの声



いつもおいしくいただいて、食事を楽しみにしています。(加賀谷さん)

温冷配膳車になり、温かい料理は温かく、冷たくして食べる料理は冷たくなっているので、おいしくいただいています。(渡邊さん)



みなさんの食べているときの笑顔が、最高でした。

あたたかいご声援、ありがとうございます。皆様の期待に添えるように、これからがんばっていきます。

「癒しの空間」を

「快適な空間」へ

秋田キャッスルホテル支配人 高橋さん



受託管理責任者 鈴木さん

ホテルが目指す病院給食は、治療の一環としての食事提供と併せて患者さんに安全で良質な食材を確保し美味しい食事を提供することです。適時適温での配膳や患者様のQOL(生活の質)に配慮したホテルシェフと管理栄養士による旬の素材等を取り入れた季節感のある食事、さらには栄養室のご指導を賜りながらEBM(医学的根拠)に基づき個別栄養管理されたメニューに取り組み積極的に実践していく所存です。皆様のご支援宜しくお願いたします。

市立病院の給食



栄養室における食物アレルギー児における取り組み

栄養室では平成16年4月から食物アレルギー児に対する個別訪問を行っています。アレルギーがある患者さんが入院すると、「食物アレルギー調査書」が小児科病棟から栄養室に届けられます。その情報に基づいて患者訪問します。家庭での食事状況や症状の起る食品などについてくわしく聞き取り「アレルギー栄養記録」にまとめます。禁止事項に基づいて献立作成し、アナフィラキシーショック等の経験がある患者さんに対しては原因物質が混入しないよう調理器具、食器な

どは専用の物を使用しています。

今まで43人に訪問しアレルギー食品では卵が30人、牛乳が14人、その他大豆、小麦、そば、ごま、ピーナッツ、えび、かに、貝類、いくら、すじこ、たらこなどです。

アレルギーとなる食品はこのように卵・牛乳・大豆など、栄養的に優れたものが多く、間違った食事療法は、子供の場合、成長に影響を与えるので上手に代わりの食品をとることが大切です。

「遊ぶこと」と 治療力

市立秋田総合病院 内科診療部長 水 俣 健 一



「遊ぶこと」に治療力があるということは、精神科の臨床をしていると実感されることです。特に子供の治療をする時、「プレイセラピー」が力を発揮するのですが、その名のとおりに「プレイ=遊ぶこと」が治療ということになります。お母さんたちは最初、「遊んでいて、本当に治るんですか？」と不思議がられます。しかし治療が進み、子供が生き生きとその子らしくなってくると、「遊ぶこと」の意味が実感されてきます。

「遊ぶこと」が治療力を持つためには、いくつかの条件が必要です。それは「①手造り②一回性③喪の作業④ほぼ良い対象の存在」の4つだと思います。つまり、人間を相手にしたオーダー・メイドな関係の中で、「失うこと」という心の大切なテーマについて、子供は取り組んでいきます。セラピスト(治療者)は、

子供とそのような治療関係を創造するために、厳しい訓練を積み重ねることが必要とされます。これらは、例えばコンピューターゲームには備わっていません。どうしても器械相手の遊びでは適えられないものです。

物質文明が発展するにつれて、治療力を持つ「遊び」の世界が貧困になりつつあることは、様々な心理的社会現象に現れています。見せかけの豊かさから子供たちを護り、日常生活の中に「遊ぶこと」を蘇生させることの大切さを、「心病む」子供たちは教えてくれています。



超音波センター開設

平成17年4月より超音波センターがオープンしました。超音波検査は無害で痛みを伴いません。しかも、甲状腺、乳腺、肝臓、腎臓、胆嚢、脾臓、膵臓、前立腺、膀胱、腸管、卵巣、子宮、あるいは心臓、動脈系など体のほとんどの部位を検査でき、現在の診断医学には欠かすことが出来ない検査法です。

超音波センター開設の目的は、最新の超音波機器をすべての科で共有し超音波医師、超音波技師

を一カ所に集中させることで、従来以上のレベルの高い医療を患者さんに提供することです。

現在、超音波センターでは医師と専門の資格をもった超音波検査士が患者さん、あるいは人間ドック受診の方の検査にあたっています。検査時間は部位により異なりますが、おおむね5分から30分です。血流を検査するカラードプラ診断検査や造影剤を使用した造影超音波検査なども行っています。



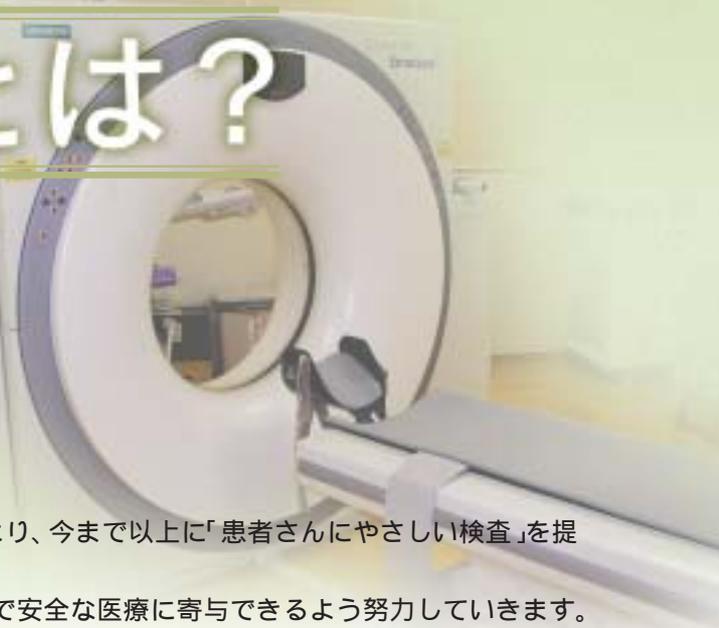
MSCT装置とは？

当院では、すでに平成17年4月より6列のマルチスライスCT (MSCT)装置が稼動しております。このMSCT装置は、1回の呼吸停止下(10~20秒位)での広範囲撮像が可能で、撮像時間を短縮することができます。また、血管その他の3D(三次元立体)画像、任意の断面の詳細な画像が得られるようになりました。

検査対象は脳出血・梗塞・腫瘍・頭部外傷、胸部疾患、腹部疾患、血管の観察、そして骨の観察に至るまで全身が撮像可能です。

そのほか優れた点として、このMSCT装置には体格にあわせて無駄なX線を照射しない機能が装備されております。これにより、今まで以上に「患者さんにやさしい検査」を提供できるようになりました。

私たちスタッフは、この最新装置を適確に使いこなし、良質で安全な医療に寄与できるよう努力していきます。



糖尿病教室のご案内

今まで毎月2回、2ヶ月で8講座行っていた糖尿病教室は、平成17年6月から毎月1回3講座、2ヶ月で6講座の開催となります。糖尿病の方をはじめ、ご家族の皆様も是非ご参加ください。開催日につきましては事前にご案内を掲示しますのでご確認のうえご参加ください。

講座内容	講師
糖尿病について	医師
食事療法について	管理栄養士
薬物療法について	薬剤師
運動療法について	理学療法士
血糖測定の意義について	臨床検査技師
日常生活の注意点・糖尿病協会の紹介	看護師

みなさんの描いた

絵、写真を募集しています。

現在、1階渡り廊下に市民の皆さんが撮った写真や絵を展示しています。来院する患者さんの心をなごます絵や写真をお持ちの方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡下さい。



事務局総務課企画経理担当

【TEL 018-823-4171(内)2134】

市立秋田総合病院

理念

市立秋田総合病院は、全ての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

患者さんに信頼される暖かい、心の通い合う医療を行います。

多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。

患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。

医療の安全の更なる向上に努めます。

良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務に改善と効率的な運営に努めます。



平成17年5月26日発行(年4回発行)No.011